

災害時、

本当に役立っ
備えとは？

災害現場経験者 からあなたへ。

東日本大震災被災地（岩手県陸前高田市）と
東京から災害対策のエキスパート2名を講師
に招いての、貴重で実践的なセミナーです。

日時 平成27年 **9/26** 土

場所 弘前市総合学習センター
2階 大会議室
(弘前市末広4丁目10番地1)

定員80名 **参加無料**

申込受付期間

8/17(月)~9/24(木)

※先着順とさせていただきます、定員に達し次第締め切ります。

1. 午前の部 10:00~12:10

「東日本大震災被災施設で 実施している防災訓練」

震災以前に実施していた防災訓練や備蓄
が震災後どのように役立ったか、震災発生
時の職員はどのように行動したのか、ご自
身の経験よりお話ししていただきます。
また、身近なものを使った簡易担架、簡
易トイレの作り方なども学びます。

医療法人勝久会 高田施設
看護部長

入澤 美紀子 氏



岩手県立大船渡病院看護師勤務を経て現在に至る。
県立病院在籍時、救命救急センターを開設。また岩手 DMAT を発足させた
5人のメンバーの一人。医療法人勝久会 高田施設に移ってからは、東日本
大震災クラスの災害を想定し、災害以前より簡易担架による搬送訓練や食糧・
物資の備蓄などを推進した。

2. 午後の部 13:30~15:40

「アクションカードを使った減災対策」

従来の防災訓練や防災マニュアルの見直
しを図りたい方は必見です。災害発生時の
初期行動、アクションカードを使った模擬
演習、現場と災害対策本部の役割など、災
害医療を実践して得た役立つ減災・防災と
は何か、教えていただきます。

国際緊急援助隊
救助チーム医療班 医師

中島 康 氏



救急指導医、外科医、博士(工学)。日本 DMAT・東京 DMAT・MIMMS
インストラクター。阪神淡路大震災で医学生としてのボランティア活動が契機
となり、外科医・救急医として中国四川省大地震、ニュージーランド南島大
地震、東日本大震災で現場活動を体験する。また、病院の減災対策として
アクションカードを使った初期対応組織作りを行っている。

以下団体等の職員・構成員の
ご参加を強くお勧めします！

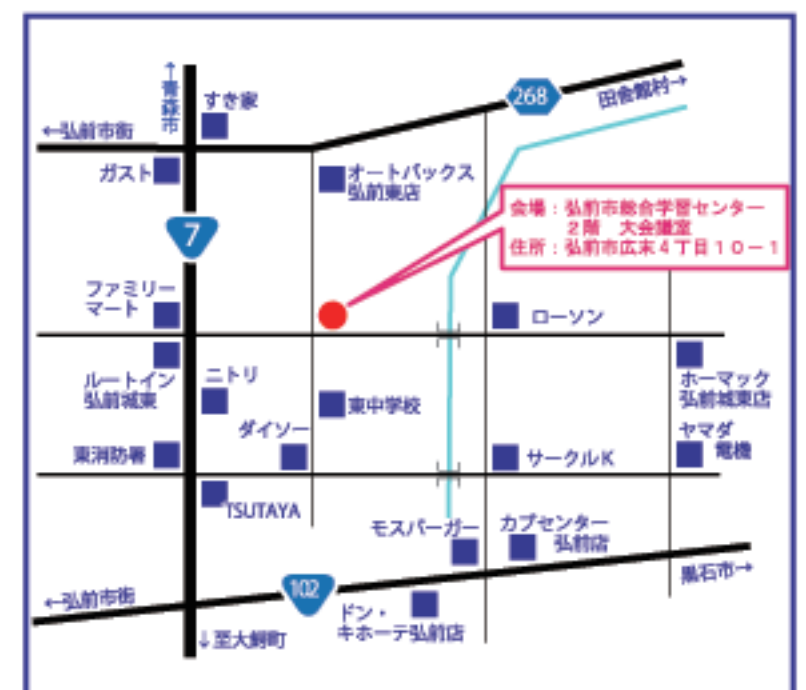
福祉施設 病院 社協 学校

幼稚園・保育園・こども園

自治体 自主防災組織

学生の方もぜひご参加下さい

会場周辺図



主催 社会福祉法人 弘前豊徳会
〒036-8311
青森県弘前市大字大川字中桜川18番地10
TEL0172(99)1255 FAX0172(99)1256
本セミナーは、公益財団法人日本社会福祉弘済会より経費の一部について助成を受けております。

お申し込みは電話かウェブで！
☎ 0172-99-1255
ウェブ申込フォームURL ↓ QRコード →
<http://houtokukai.org/mailform/entry.html>

